

優先順位	改善項目		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(平成18年3月31日現在)
	自己	外部				
改善済み	4	3	利用者の権利についてわかりやすく	利用案内時にホームでどのように暮らせるのかを利用者および、家族に説明する。	H18～	契約書にわかりやすく明示する。
	14	11	テレビの音と職員の声の大きさについて配慮する。	耳の遠い方々がおられるため、補聴器を使ってもらい、職員の声、テレビの音にも気をつける。	H18.2～	補聴器だけでは、テレビの音が聞こえないとので、ヘッドホンを使ってもらい聞いていただいています。改善中
	20	15	センター方式の導入	24時間の生活変化シート利用により計画と介護の一体化	H18.3～	改善中
	48-50	34-35	排泄支援時の周囲の方への配慮	ご本人の行動を観察しながら排泄のサインを見逃さないようにして誘導する。	H17.8～	記録することにより、リズムをつかみ自然な形で少しずつではあるが、誘導していけるようになってきたように思います。
	25	20	確実な申し送り、情報伝達が出来るように	ノート類を職員のロッカーのそばに置くようにして、出退勤時に確認サインしやすいようにする。	H17.8～	出来ているように思います。
	57	38	整容について、本人の持っている力を最大限に活用しながら対応出来るように	朝や外出時の折、着替えなどをさせていただきながら、自然に整容していただく。	H17.8～	入居者の中に、他の方のヘアスタイルを気にしてくださる方がおられ、ブラシを使って整えてくださるので、少しずつご自分の整容について気にされるようになってきています。
	32	25	利用者のペースにあわせた生活をしてもらう。	利用者が自分のペースで暮らせるように支える。	H17.8～	可能な限りしています。
	90	51	ホームに閉じこもらない生活の支援	積極的に近所に出かけ楽しめる雰囲気作り。		季節の行事、スーパーの買い物と外出の機会を多くするように努めています。
	101	55	成年後見人制度の活用	成年後見人制度の推進	H18.1～	研修を受けて、必要と思われるご家族に勧めています。
	117	63	事故の報告と活用	再発防止の話し合いをする。	H17.8～	職員全員で話し合い、サービスの改善方針について話し合い、安心して頂けるように気を配っています。
	133	71	周辺施設の理解と協力への働きかけをする。	周辺地域の諸施設からの協力を得るため働きかけをする。	H17.7～	外食できるレストランの開拓を少しずつしています。消防署では、救命講習を受けたり、火災について心配して頂いております。
	47	33	食事を楽しむ事の出来る支援をする。	もっと話しがどんどん出てくるような雰囲気作りをする。		昔の方は、食事中はべらべらと話すものではないと育ってきた方もおられますので、また全く会話が無いのではなく、評価が初めてだったので、緊張したからだと思います。少しずつ話しを楽しみながらの食事したいと思います。
	80	47	口腔内の清潔保持	朝夕だけではなく昼食後の口腔ケアをする。	H17.8～	昼食後の声かけ誘導も少しずつ出来てきたように思います。
	108	59	利用者の決定の為の検討	法人と入居者と待機者について話す機会を増やす。		法人とホームの現状を話す機会も増えてきました。
	110	60	退去の支援	入院や重度化についてご家族にも安心して頂く。		医療連携体制を整え、看取り体制も整えてきました。